

佐藤 栄子 教授
博士(保健学)

Eiko Sato

✉ eiko.sato@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

慢性期看護 成人看護学 糖尿病 QOL セルフケア

プロフィール

1989年 虎の門病院 看護部
1992年 川崎製鉄株式会社 健康管理センター
1995年 川崎市立看護短期大学 助手
2009年 東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 博士後期課程修了
2009年 桐生大学 医療保健学部 看護学科 講師
2014年 足利工業大学 看護学部 准教授
2018年 足利大学 看護学部 教授
2026年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 教授

研究分野

臨床看護学 / 成人看護学 / 慢性期看護

所属学協会

日本看護科学学会、日本慢性看護学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本糖尿病学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会

専門分野・研究分野

慢性疾患患者の患者中心の医療の実現に向けて

慢性疾患患者の Quality of Life (QOL) や患者の価値観を重視した患者中心の医療、看護実践に関心があり、その実現のために患者が報告するアウトカム評価の活用が重要と考えている。

糖尿病患者などの慢性疾患の発症には、長年の食事や運動等の生活習慣が深く関与している。患者がそれまでの生活習慣を行動変容させることが治療の鍵となるが、決して簡単なことではない。糖尿病患者の支援では合併症予防をするだけでなく、患者の日常生活である、療養生活における QOL を大切にしていくことが必要である。このように考え、患者の視点から QOL を測定、評価し、その結果を患者支援の質の保証として活用すること、QOL を向上させるような患者支援の方法について追及している。

研究内容

糖尿病患者の療養関連 QOL に関する研究

臨床アウトカムのひとつである Patient-Reported Outcome (PRO) は、「患者の回答について、臨床家や他の誰の解釈も介さず、患者から直接得られる患者の健康状態に関するすべての報告」という患者自身が報告するアウトカムである。QOL 尺度も PRO のひとつで、既ががん領域を中心に活用されている。糖尿病患者への支援に PRO を実装することは、患者の個別性を踏まえた支援に寄与する。

これまでに糖尿病患者の療養生活を患者自身が QOL の観点から評価する指標の開発が必要と考え、糖尿病食事関連 QOL 尺度を開発した。さらに適用範囲を広げた改訂版、利便性を高めた短縮版、糖尿病運動関連 QOL 尺度も開発した。その後、複数の研究者らと糖尿病食事関連 QOL 尺度を食事療法に関する介入の評価指標や薬剤治療の副次アウトカムとした研究に取り組んでいる。

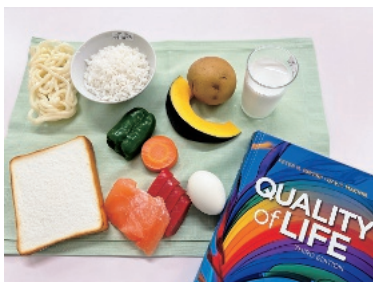


写真1 糖尿病治療とQOL、どちらも大切です



写真2 研究成果を学会で発表

患者の治療とQuality of Life
の両立を目指して

シーズ・地域連携テーマ例

- QOL尺度開発と評価
- 糖尿病など慢性疾患患者のセルフケア支援

受賞

- 2009年 第52回日本糖尿病学会年次学術集会 プレジデントポスター (筆頭者)

論文

- COVID-19感染拡大下の糖尿病患者への教育・看護に関する実態調査 外来における看護支援に焦点を当てて、佐藤栄子他、日本糖尿病教育・看護学会誌, 28 (1), 53-62, 2024.
- Reliability and validity of revised and short form versions of diabetes diet-related quality of life scale, Sato E, et al., Diabetology International, 8(2), 181-192, 2017.
- Effects of carbohydrate counting on glycemic control and quality of life in patients with type 1 diabetes: a pilot study, Sato E, et al., Diabetology International, 5(3), 181-186, 2012.

講演・口頭発表等

- 成人看護学における自己調整学習を活用した教育効果の検討, 佐藤栄子他, 第45回日本看護科学学会学術集会, 2025年12月
- 糖尿病とがんを併存する患者の療養体験に関する国内外文献レビュー, 佐藤栄子他, 第30回日本糖尿病教育・看護学会学術集会, 2025年9月。

競争的資金等の研究課題

- Common sense modelに基づく糖尿病自己管理教育プログラムの開発 科学研究費補助金 (基盤研究C) 2012年4月~2017年3月
- 看護職のwork-life balance (WLB) 推進事業の効果と促進要因の探索 科学研究費補助金 (基盤研究C) 2015年4月~2018年3月
- 成人看護学領域における主体的学修態度向上を目指した教育プログラムと評価尺度の開発 科学研究費補助金 (基盤研究C: 研究代表者) 2018年4月~2025年3月

社会貢献活動

- 日本慢性看護学会評議員, 査読委員 (2007年~)
- 足利赤十字病院看護部看護研究指導 (2022~2025年度)
- 東京都立多摩北部医療センター看護部看護研究指導 (2024~2025年度)